

セカンドハーベスト・ジャパン ”marugohan“利用が本格稼働3ヶ月で2,500名超 ～「食」の支援を必要とする方々から大きな支持をいただいています～

日本初のフードバンク団体であるセカンドハーベスト・ジャパン（本部所在地：東京都台東区、以下2HJ）が直営する全く新しいスタイルのパントリー「marugohan（まるごはん）<http://marugohan.jp/>」が多くの利用者から支持を得ています。

日本の相対的貧困率は、2012年には過去最高の16.1%まで上昇し、現時点でもおよそ7人に1日の子供が貧困に苦しんでおり、平均的な生活水準の半分以下の暮らしの中で、栄養不足や日々の食糧摂取に苦しむ人も多くいます。その一方で年間約643万トンもの食糧が廃棄されている、これは国民一人1日当たり、茶碗1杯分のご飯の量を廃棄しているという状況です。

食の支援を必要としている方々により快適な支援環境を提供するため、2019年11月に本格稼働したmarugohanは、2020年1月末までの3ヶ月で、539名がメンバー登録を、会員ユーザーの体験伸べ人数は、2,532名に達しました。加えて、773名が体験ユーザーとしてmarugohanを利用しています。提供した食品の総量は27トンを超えており、当初の計画以上のスピードで伸長しています。



marugohanでは、既にパッケージされた食品を受け取るこれまでのパントリーと違い、利用者が、スーパーマーケットのような快適な環境下で自らが必要な食品を選択し受け取ることができます。そして、その感謝の気持ちを自身が選択した社会貢献を通して社会に還元するというものです。

利用者からは、『自分たちのペースで必要な食品を必要な時に受け取れるので、とても助かっている』『少量ずつでも食品を受け取りにいけることができ、ムダにすることなく使い切れてとても良い』『お店が明るくて、おしゃれな雰囲気なので入りやすいし、買い物しやすい』などのお声をいただいています。

今後も、セカンドハーベスト・ジャパンは、この新しいマーケットであるmarugohanをはじめ、様々な革新的試みを通じて、フードセーフティネットを築くための全国ネットワークである公益財団法人 日本フードバンク連盟 <http://foodbanking.or.jp/> の一員として、社会の様々なプレーヤーとのパートナーシップの形を模索・提案し、活動を拡充していく所存です。

marugohan 情報 :



入会方法 :

- 1) marugohan お試しユーザーとして、marugohan を体験する
- 2) お試し体験の上、marugohan のコンセプトにご賛同いただいた方には、会員登録していただく
- 3) 入会にあたり、500 円の登録手数料（年に一回）をいただく
- 4) 入会された方には、有効期限が定められた会員カードが発行されます

住所 : 東京都台東区浅草橋 4-5-1

電話 : 03-5822-5373

営業時間 : 火、木、金、土/

14:00~16:00 (受付開始 13:30)

(木、金、土は、お子様連れのご家族は、Kids Café をご利用いただけます。)

【セカンドハーベスト・ジャパンについて】

セカンドハーベスト・ジャパン（2HJ、2018年4月より認定NPO法人）は、日本で初めてのフードバンクです。現在、2020年の1年間に東京都内で10万人、神奈川・埼玉で6万人に対し「生活を支えるのに十分な食べ物」を渡すことができるフードセーフティネットの構築を目標とする、「東京 2020 : 10 万人プロジェクト <http://www.2hj.org/100000pj/>」を推進中です。

HP : <https://2hj.org/> Facebook : <https://www.facebook.com/2ndharvestjapan/?fref=ts>

Twitter : <https://twitter.com/2ndharvestjapan>

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

セカンドハーベスト・ジャパン 広報担当 : 和間 (080-4123-1448、[kwama @2hj.org](mailto:kwama@2hj.org))

###